

香美町林業施設個別施設計画

2021年(令和3年)3月

香美町

(農林水産課)

目 次

1	基本事項	
	(1) 計画の目的と位置づけ	1
	(2) 計画期間	2
	(3) 対象施設	2
2	施設の現況及び将来の見通し	
	(1) 保有状況	3
	(2) 点検・診断の実施状況等	5
	(3) 管理運営の状況	5
	(4) 保全・更新費用の見通し	6
	(5) 管理運営費等の見通し	6
3	再編等に関する事項	
	(1) 再編等の方向性の検討方法	7
	(2) 再編等スケジュール	7
4	保全・更新等に関する事項	
	(1) 保全・更新等の検討方法	8
	(2) 保全・更新等スケジュール	9
5	管理運営に関する事項	
	(1) 管理運営の見直しの検討方法	10
	(2) 管理運営の見直しスケジュール	10
6	公共施設等マネジメントによる効果	
	(1) 保有量	11
	(2) 保全・更新等費用	11
	(3) 管理運営費等	11
7	フォローアップの実施方針	
	(1) フォローアップの実施方針	12
8	附属資料	
	(1) 橋梁点検結果一覧表・個票	13

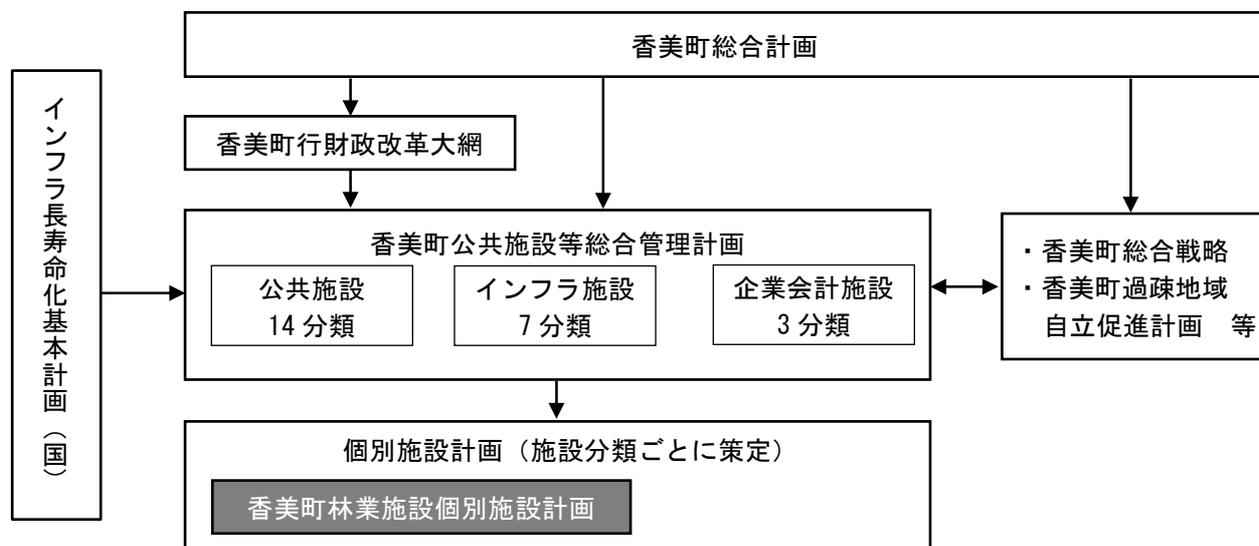
※本計画書中に記載している表の数値は、四捨五入の関係で数値の合計が合わない場合があります。

1 基本事項

(1) 計画の目的と位置づけ

本計画は、2017年(平成29年)3月に策定した「香美町公共施設等総合管理計画」(以下「総合管理計画」という。)に基づき、公共施設等の老朽化問題に対応し、財政負担の軽減・平準化を目指していくため、公共施設等マネジメント(保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化を図るための取組)を推進していくための林業施設に係る個別施設ごとの具体的な対応方針を示したものです。

また、本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画(インフラ長寿命化計画＝総合管理計画)に基づく実施計画である個別施設計画(個別施設ごとの長寿命化計画)として位置づけます。



なお、個別施設計画の策定状況は以下のとおりです。

分類	計画名	策定年度	見直し年度	
公共施設	行政施設	香美町行政施設個別施設計画	2017(H29)	—
	町民文化施設	香美町町民文化施設個別施設計画	2017(H29)	—
	社会教育施設	香美町社会教育施設個別施設計画	2017(H29)	—
	体育施設	香美町体育施設個別施設計画	2017(H29)	—
	保健・福祉施設	香美町保健・福祉施設個別施設計画	2017(H29)	—
	医療施設	香美町医療施設個別施設計画	2017(H29)	—
	観光施設	香美町観光施設個別施設計画	2017(H29)	—
	産業施設	香美町産業施設個別施設計画	2017(H29)	—
	学校教育施設	香美町学校教育施設個別施設計画	2017(H29)	—
	子育て支援施設	香美町子育て支援施設個別施設計画	2017(H29)	—
	公営住宅等施設	香美町営住宅長寿命化計画	2014(H26)	2019(H31)
		香美町公営住宅等施設個別施設計画	2017(H29)	—
	廃棄物処理施設	香美町廃棄物処理施設個別施設計画	2017(H29)	—
	その他施設	香美町その他施設(斎場)個別施設計画	2017(H29)	—
香美町その他施設(駐車場・駐輪場・倉庫)個別施設計画		2017(H29)	—	
香美町その他施設(公衆便所)個別施設計画		2017(H29)	—	
香美町その他施設(バス停留所)個別施設計画		2017(H29)	—	
香美町その他施設(公園施設)個別施設計画		2017(H29)	—	
普通財産施設	香美町普通財産施設個別施設計画	2017(H29)	—	

分類		計画名	策定年度	見直し年度
インフラ施設	道路施設	香美町道路施設個別施設計画	2019(R1)	—
		香美町道路橋長寿命化修繕計画	2014(H26)	2020(R2)
	河川施設	香美町河川施設個別施設計画	2020(R2)	—
	漁港施設	香美町漁港施設個別施設計画	2020(R2)	—
	農業施設	—	—	—
	林業施設	香美町林業施設個別施設計画	2020(R2)	—
	防災施設	香美町防災施設個別施設計画	2018(H30)	—
通信施設	香美町通信施設個別施設計画	2018(H30)	—	
計企 施設 設会	水道施設	[代替計画] 香美町水道事業経営戦略	2017(H29)	2020(R2)
	下水道施設	[代替計画] 香美町下水道事業経営戦略	2017(H29)	2020(R2)
	病院施設	[代替計画] 公立香住病院新改革プラン	2016(H28)	—

※代替計画とは、既存の同種・類似の計画を当分の間、個別施設計画の策定に代えているものです。

(2) 計画期間

本計画の計画期間は、2020年度(令和2年度)から2026年度(令和8年度)までの7年間とします。総合管理計画の計画期間である2017年度(平成29年度)から2046年度(令和28年度)までの30年間で3期に分け、本計画はその第1期分とします。

なお、本町を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画における施設分類の林業施設(林道、橋梁、治山施設)とします。

2 施設の現況及び将来の見通し

(1) 保有状況

2015年度(平成27年度)末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。(総合管理計画との比較を行うため、保有状況については、総合管理計画と同じ2015年度(平成27年度)末時点としています。)

分類	施設名	林道		橋梁		取得価額 (千円)	減価償却 累計額 (千円)	有形固定資産 減価償却率 (%)
		路線数	延長 (m)	橋梁数	延長 (m)			
林道 橋梁	林道幸谷線	1	1,149			45,964	44,380	96.6
	林道サンジ谷線	1	1,460	1	7	68,150	64,006	93.9
	林道奥山線(香住区)	1	1,377			55,080	51,282	93.1
	林道カガン谷線	1	620	1	8	40,226	34,121	84.8
	林道守柄線	1	2,015	1	4	88,232	74,895	84.9
	林道船谷線	1	1,268			50,720	45,648	90.0
	林道ブチン谷線	1	388			15,508	15,508	100.0
	林道ノリイン線	1	401			16,040	12,306	76.7
	林道三尾御崎線	1	4,716			404,550	256,727	63.5
	林道若山線	1	3,100			124,000	123,618	99.7
	林道船越線	1	6,392	1	8	430,000	244,623	56.9
	林道丹生地・浦上線	1	556			30,159	16,889	56.0
	林道池ヶ平線	1	5,116			568,596	219,716	38.6
	林道栗ヶ尾線	1	3,536			510,754	183,203	35.9
	林道奥山線(村岡区)	1	1,070	1	6	52,960	49,858	94.1
	林道上へ山線	1	281			11,240	10,566	94.0
	林道久津線	1	18			900	720	80.0
	林道本谷線	1	4,840			333,450	214,425	64.3
	林道十石線	1	880			44,000	29,920	68.0
	林道宮神山田線	1	7,605	1	21	738,619	440,139	59.6
	林道用野和佐父線	1	1,767			94,770	59,341	62.6
	林道の場線	1	786			31,270	18,137	58.0
	林道福岡作山線	1	5,513			743,232	250,252	33.7
	林道小城線	1	280			75,290	23,440	31.1
	林道八岡線	1	1,900			196,000	54,512	27.8
	林道仏ノ尾線	1	10,790			1,842,120	610,239	33.1
	林道大照線	1	12,762			966,345	628,302	65.0
	林道稻荷尾線	1	1,489			92,059	45,706	49.6
	林道野間線	1	3,026			700,000	238,962	34.1
	林道広井長板線	1	858			67,347	18,878	28.0
合計		30	85,959	6	53	8,437,581	4,080,319	48.4

※林道の延長には橋梁の延長を含んでいます。

※取得価額が不明な施設については、路線単価等による再調達価額を取得価額としています。

分類	施設名	箇所数	土留	法枠・吹付	緑化	取得価額 (千円)	減価償却 累計額 (千円)	有形固定資産 減価償却率 (%)
			延長 (m)	面積 (㎡)	延長・ 面積			
治山施設	治山施設 (境地区(香住区)) 01	1	5		190㎡	1,848	669	36.2
	治山施設 (境地区(香住区)) 02	1	10		38㎡	2,513	524	20.9
	治山施設 (間室地区) 01	1	36			3,361	1,828	54.4
	治山施設 (油良地区) 01	1	11		350㎡	8,879	0	0.0
	治山施設 (下浜地区) 01	1	21		275m	3,000	3,000	100.0
	治山施設 (九斗地区) 01	1	16		388㎡	6,500	3,124	48.1
	治山施設 (丹生地地区) 01	1	21		376m	6,300	6,300	100.0
	治山施設 (丹生地地区) 02	1		111		5,119	3,307	64.6
	治山施設 (丹生地地区) 03	1		196		4,106	1,535	37.4
	治山施設 (畑地区) 01	1	41		515m	3,990	3,990	100.0
	治山施設 (三川地区) 01	1	16		281m	5,809	4,666	80.3
	治山施設 (相谷地区) 01	1	21		250m	4,253	880	20.7
	治山施設 (無南垣地区) 01	1		187		8,525	5,217	61.2
	治山施設 (浦上地区) 01	1		556		16,380	5,569	34.0
	治山施設 (上計地区) 01	1	6		325㎡	4,285	3,898	91.0
	治山施設 (沖浦地区) 01	1	34		192m	4,701	4,701	100.0
	治山施設 (沖浦地区) 02	1	14		339m	5,170	5,170	100.0
	治山施設 (沖浦地区) 03	1	25		406m	5,530	5,530	100.0
	治山施設 (沖浦地区) 04	1	8		100m	2,300	2,300	100.0
	治山施設 (沖浦地区) 05	1	28		249m	6,830	6,830	100.0
	治山施設 (沖浦地区) 06	1	21		296㎡	5,501	3,221	58.6
	治山施設 (守柄地区) 01	1	11		155m	1,813	1,603	88.4
	治山施設 (守柄地区) 02	1	17		100m	1,973	1,695	85.9
	治山施設 (三谷地区) 01	1	27		300㎡	4,800	4,587	95.6
	治山施設 (三谷地区) 02	1	12		233㎡	3,935	3,582	91.0
	治山施設 (大野地区(香住区)) 01	1	48		1,049㎡	13,875	11,432	82.4
	治山施設 (大野地区(香住区)) 02	1		599		10,861	1,846	17.0
	治山施設 (余部地区) 01	1	23		105m	8,042	7,010	87.2
	治山施設 (鎧地区) 01	1	25		280m	4,860	4,860	100.0
	治山施設 (鎧地区) 02	1	19		154m	3,142	2,715	86.4
	治山施設 (鎧地区) 03	1	23		162㎡	3,245	2,392	73.7
	治山施設 (鎧地区) 04	1		310	15㎡	5,502	1,892	34.4
	治山施設 (村岡地区) 01	1			770㎡	7,416	7,416	100.0
	治山施設 (相田地区) 01	1	51		1,216m	4,560	4,560	100.0
	治山施設 (相田地区) 02	1	30		390m	4,010	4,010	100.0
	治山施設 (板仕野地区) 01	1	9		42m	1,000	1,000	100.0
	治山施設 (板仕野地区) 02	1	19		165㎡	5,562	4,511	81.1
	治山施設 (板仕野地区) 03	1	13			6,122	2,289	37.4
	治山施設 (板仕野地区) 04	1	6	116	50㎡	3,255	793	24.4
	治山施設 (福岡地区) 01	1	9		157㎡	4,463	2,027	45.4
	治山施設 (八井谷地区) 01	1			94㎡	1,245	125	10.0
	治山施設 (入江地区) 01	1	18		152m	3,413	3,413	100.0
	治山施設 (和田地区) 01	1	20			3,966	2,831	71.4
	治山施設 (高津地区) 01	1	18		674㎡	8,395	8,394	100.0
	治山施設 (長須地区) 01	1	22		161m	1,938	1,938	100.0
	治山施設 (野間谷地区) 01	1	20			2,205	750	34.0
治山施設 (茅野地区) 01	1	11		186m	1,203	1,203	100.0	
治山施設 (茅野地区) 02	1		125		7,214	1,962	27.2	
治山施設 (秋岡地区) 01	1	10			1,252	100	8.0	
治山施設 (石寺地区) 01	1	17			4,200	1,428	34.0	
合計		50	809	2,200		248,367	164,623	66.3

(2) 点検・診断の実施状況

点検・診断の実施状況は以下のとおりです。

区分		点検等名称	周期	施設分類	対象施設名称等	最新点検等年度
自主点検	専門業者	林道施設点検（橋梁）	1回/5年	橋梁	橋梁（6橋）	2019年（R1）

※最新点検年度は2019年度（令和1年度）末時点

施設分類	点検等実施数	判定区分内訳							
		I		II		III		IV	
			割合		割合		割合		割合
橋梁	6	3	50.0%	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%

※区分Ⅰ（構造物の機能に支障が生じていない状態）

※区分Ⅱ（構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）

※区分Ⅲ（構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態）

※区分Ⅳ（構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）

(3) 管理運営の状況

① 管理運営方式

管理運営方式の状況は公設公営の直営方式です。

② 管理運営費

2017年度（平成29年度）から2019年度（令和1年度）の3年間の管理運営費の状況は以下のとおりです。

分類	管理運営方式	歳出（千円）			歳入（千円）			実質負担額（千円）			
		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2019-2017 増減率
林道 橋梁 治山	直営	9,608	8,997	11,251	0	0	964	9,608	8,997	10,287	7.1
計		9,608	8,997	11,251	0	0	964	9,608	8,997	10,287	7.1

※歳入のうち各種基金からの繰入金は除いています。

【主な歳出・歳入の項目】

項目		金額（千円）			
		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2019-2017 増減率
歳出	修繕	9,008	8,317	8,724	▲ 3.2
	橋梁点検	0	0	1,893	—
歳入	民有林林道事業補助金（橋梁点検）	0	0	964	—

(4) 保全・更新費用の見通し

2017年度（平成29年度）から2056年度（令和38年度）までの40年間の保全・更新費用の見通しは以下のとおりです。

【見通しの条件設定】

分類	条件設定内容
林道	舗装部分の総面積を更新年数15年で割った面積を1年間の更新量とし、更新量に試算単価を乗じて算出（総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」の道路と同様の条件・単価）
橋梁	60年目で更新とし、面積に試算単価を乗じて算出（総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件・単価）
治山施設	土留・法枠について、50年目で更新とし、取得価額を基に算出

分類	保全・更新費用（千円）				
	1～10年目 2017(H29)～ 2026(R8)	11～20年目 2027(R9)～ 2036(R18)	21～30年目 2037(R19)～ 2046(R28)	31～40年目 2047(R29)～ 2056(R38)	合計
林道	299,200	299,200	299,200	299,200	1,196,800
橋梁	0	34,000	62,500	10,000	106,500
治山施設	0	55,700	65,600	77,000	198,300
合計	299,200	388,900	427,300	386,200	1,501,600

※総合管理計画との比較を行うため、総合管理計画の開始年度2017(H29)から40年間としています。
 ※2015(H27)末時点での施設を基準として試算しているため、理論上2016(H28)分を含んでいます。

(5) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を基に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは以下のとおりです。

分類	管理運営費等（千円）		
	2017(H29)～2026(R8)		
	歳出	歳入	実質負担額
林道 橋梁 治山施設	104,581	3,514	101,067
合計	104,581	3,514	101,067

3 再編等に関する事項

(1) 再編等の方向性の検討方法

計画期間内の再編等の方向性については、総合管理計画による再編の実施方針に基づいた以下の分類ごとの考え方を基本としながら、「維持」・「更新」・「新設」・「機能廃止」・「解体撤去」・「用途変更」の区分により方向性の検討を行いました。

なお、今回検討した再編等の方向性については、町における現時点の基本的な方向性（考え方）を示したものです。実際に再編等を検討する際には、この方向性をふまえ、具体的な実施方法等について関係者等と一緒に検討・調整を行い、これまでどおり段階を踏んで進めていきます。

① 再編等の考え方

分類	再編等の考え方
林道	・計画期間内においては、現状の施設を引き続き維持していきます。
橋梁	
治山施設	・山腹崩壊及び崩壊土砂流出の事象により、保全対象施設と認められる場合に治山事業実施要領に基づき、治山施設の新設を検討します。

(2) 再編等スケジュール

再編等を実施することとした施設における再編等スケジュールを、前期2年間と後期5年間に分けて以下のとおり検討しました。（総合管理計画との比較を行うため、2016年度(平成28年度)～2019年度(令和1年度)中の再編等についても記載しています。）

分類	施設名	2016(H28)～ 2019(R1)	前期 2020(R2)～ 2021(R3)	後期 2022(R4)～ 2026(R8)	林道		橋梁	
					路線数	延長 (m)	橋梁数	延長 (m)
林道 橋梁	実施予定なし							
合計					0	0	0	0
分類	施設名	2016(H28)～ 2019(R1)	前期 2020(R2)～ 2021(R3)	後期 2022(R4)～ 2026(R8)	箇所数	土留	法枠・吹付	緑化
						延長 (m)	面積 (㎡)	延長・ 面積
治山施設	治山施設（境地区(香住区)）03		新設		1		220	
	治山施設（大谷地区(小代区)）01	新設			1			1,950㎡
合計					2	0	220	

【実施方針】

分類	施設名	実施方針
林道 橋梁 治山施設	治山施設（境地区(香住区)）03	山腹崩壊による民家損傷が発生したため、治山事業を行い民家の保全を図ります。

※2016年度(平成28年度)～2019年度(令和1年度)中の再編については、実施方針を記載していません。

4 保全・更新等に関する事項

(1) 保全・更新等の検討方法

計画期間内の保全・更新等については、総合管理計画による取組方針及び本計画の「再編等スケジュール」に基づき、「保全」・「更新」・「その他」の3つに区分し、検討を行いました。

なお、今回検討した保全・更新等については、以下の方法に基づいて検討した目安となる実施時期及び費用を示したものです。

① 保全・更新等の区分

以下のとおり保全、更新、その他の3つに区分しました。

区分	内容
保全	林道（舗装・側溝等）、橋梁、治山施設等に係る計画的な修繕・改修等 ※小規模修繕等については、「5 管理運営に関する事項」で検討
更新	施設全体の更新
その他	新設、解体撤去等

② 保全・更新等の考え方

分類	保全・更新等の考え方
林道	・林道パトロールの結果や住民及び森林施業者からの通報により、舗装修繕及び側溝改良等の必要な路線について、修繕・改修等を実施します。
橋梁	・橋梁点検の結果に基づき、判定区分が「Ⅲ」以上の橋梁について必要な修繕・改修を実施します。
治山施設	・自主点検（目視）を行い構造的な損傷と確認された場合、受益者と協議を行い必要な修繕・改修を実施します。

③ 保全・更新等に係る費用の算出方法

橋梁修繕については、点検結果に基づき修繕が必要な箇所に対して、対策に応じた標準的単価を設定し費用を算出しています。その他については、想定される標準的な工法や過去の同種工事の実績等から算出しています。

④ 保全・更新等の優先順位

定期点検に基づく判定結果、林道パトロールの結果や住民からの通報、緊急度を考慮し、保全・更新等の優先順位を検討しました。

(2) 保全・更新等スケジュール

保全・更新等の優先順位を考慮しながら、施設の長寿命化・財政負担の平準化を行うため、保全・更新等スケジュールを前期2年間と後期5年間に分けて以下のとおり検討しました。(総合管理計画との比較を行うため、2016年度(平成28年度)～2019年度(令和1年度)中の保全・更新等についても記載しています。)

分類	施設名	区分等		保全・更新等費用(千円)			
				2016(H28)～ 2019(R1)	前期 2020(R2)～ 2021(R3)	後期 2022(R4)～ 2026(R8)	合計
林道	林道三尾御崎線	保全	舗装	0	0	12,000	12,000
	林道池ヶ平線	その他	横断溝設置	0	0	2,500	2,500
	林道宮神山田線	その他	横断溝設置	0	0	4,000	4,000
	林道仏ノ尾線	その他	横断溝設置	0	0	5,500	5,500
	林道大照線	保全	舗装	0	0	18,000	18,000
	林道野間線	保全	擁壁	0	0	45,000	45,000
	小計	保全		0	0	75,000	75,000
		更新		0	0	0	0
その他		0	0	12,000	12,000		
計		0	0	87,000	87,000		
橋梁	実施予定なし						0
	小計	保全		0	0	0	0
		更新		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		計		0	0	0	0
治山施設	治山施設(境地区(香住区))03	その他	新設	0	5,600	0	5,600
	治山施設(大谷地区(小代区))01	その他	新設	28,300	0	0	28,300
	小計	保全		0	0	0	0
		更新		0	0	0	0
		その他		28,300	5,600	0	33,900
計		28,300	5,600	0	33,900		
合計	保全		0	0	75,000	75,000	
	更新		0	0	0	0	
	その他		28,300	5,600	12,000	45,900	
	計		28,300	5,600	87,000	120,900	

5 管理運営に関する事項

(1) 管理運営の見直しの検討方法

計画期間内の管理運営については、総合管理計画による取組方針及び本計画の「再編等スケジュール」・「保全・更新等スケジュール」に基づき、以下の項目について検討を行いました。

なお、今回検討した管理運営費等については、以下の方法に基づいて算出した目安となる費用等を示したものです。

区分	主な見直し内容及び算出方法
歳出	林道に係る維持管理費の見直し 林道沿いの自然立木の成長により枝葉が林道通行による支障が多くなっているため、支障木伐採工事を実施する。(2022年度(令和4年度)～2026年度(令和8年度) 5,000千円)
歳入	見直しなし

(2) 管理運営の見直しスケジュール

管理運営の見直しの検討内容を基に、管理運営の見直しスケジュールを前期2年間と後期5年間に分けて以下のとおり検討しました。

分類	管理運営費等(千円)											
	2017(H29)～2019(R1)			前期 2020(R2)～2021(R3)			後期 2022(R4)～2026(R8)			合計		
	歳出	歳入	実質 負担額	歳出	歳入	実質 負担額	歳出	歳入	実質 負担額	歳出	歳入	実質 負担額
林道 橋梁 治山施設	29,856	964	28,892	19,845	0	19,845	59,880	2,550	57,330	109,581	3,514	106,067
合計	29,856	964	28,892	19,845	0	19,845	59,880	2,550	57,330	109,581	3,514	106,067

6 公共施設等マネジメントによる効果

(1) 保有量

分類	計画前 (2015(H27)末)		計画後 (2026(R8)末)		効果		主な要因
	30路線	85,959m	30路線	85,959m	0路線	0m	
林道	30路線	85,959m	30路線	85,959m	0路線	0m	・増減なし
橋梁	6橋	53m	6橋	53m	0橋	0m	・増減なし
治山施設	50箇所	(土留) 809m (法枠・吹付) 2,200㎡	52箇所	(土留) 809m (法枠・吹付) 2,420㎡	2箇所	(土留) 0m (法枠・吹付) 220㎡	・新設による増(2箇所・吹付 220㎡ 緑化1,950㎡)

(2) 保全・更新等費用

分類	計画前 2017(H29)～ 2026(R8)	計画後 2016(H28)～ 2026(R8)	効果	主な要因
林道	299,200千円	87,000千円	▲212,200千円	・平準化等による保全・更新費用の減(▲224,200千円) ・横断溝設置によるその他費用の増(12,000千円)
橋梁	0千円	0千円	0千円	・増減なし
治山施設	0千円	33,900千円	33,900千円	・新設によるその他費用の増(33,900千円)
合計	299,200千円	120,900千円	▲178,300千円	

※計画前は2015(H27)末時点での施設を基準として試算しているため、理論上2016(H28)分を含んでいます。

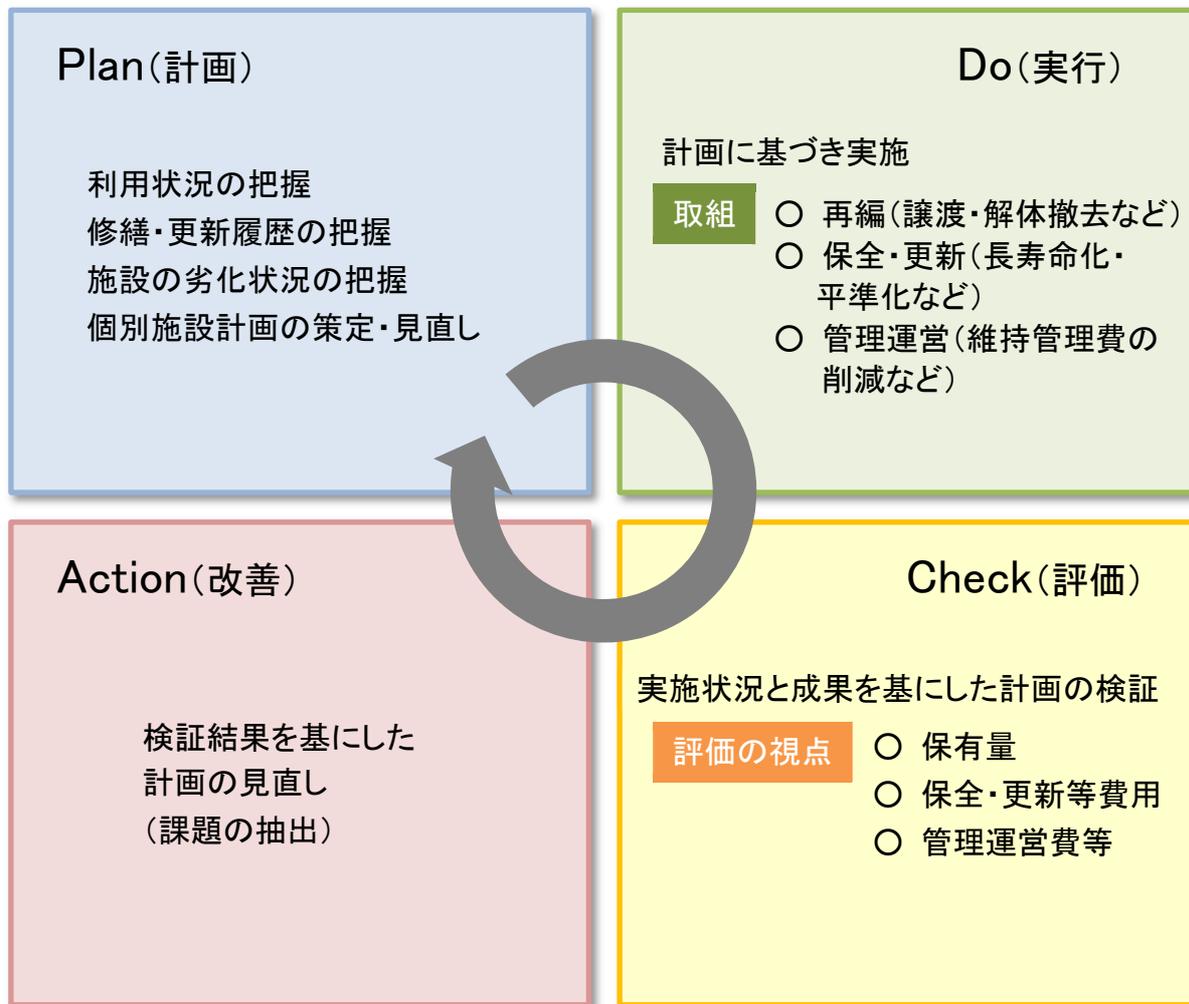
(3) 管理運営費等

分類	計画前 (実質負担額) 2017(H29)～ 2026(R8)	計画後 (実質負担額) 2017(H29)～ 2026(R8)	効果	主な要因
林道 橋梁 治山施設	101,067千円	106,067千円	5,000千円	・林道に係る支障木伐採工事実施による増(5,000千円)

7 フォローアップの実施方針

(1) フォローアップの実施方針

本計画を着実に推進していくためには、以下のPDCAサイクルに基づき、継続的に計画の評価・見直しを行いながら推進していきます。



8 附属資料

(1) 橋梁点検結果一覧表・個票

別添の別紙(一覧表)

個別施設計画一覧表(橋梁)

個別施設 整理番号	林道台帳 索引番号	路線名	林道種類 及び区分	橋梁名	所在地	起点から の距離	建設 年度	供用 年数	種別	型式	道路橋 示方書	橋格 (設計荷 重)	橋下 条件	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 型式	橋台工 型式	橋脚工 型式	海岸から の距離 (km)	施設の現況			計画内容				優先度	措置記録					備考			
																				点検実施 年月日	判定区分	所見等	計画期間	内容		実施 予定時期		対策費用 (概算:百万円)	実施 年月日	内容		対策費用 (百万円)		再判定実施 年月日	再判定 区分	
																								分類	概要 (数量)					分類	概要 (数量)					
1-3001-01	1-2	サンジ谷線	森林管理道	サンジ橋	美方郡香美町 香住区余部	750m	1990以降	29	鋼橋	鋼桁橋	不明	不明	河川	6.5	3.0	鋼桁	重力式	-	1.0	R1.9.30	II	橋台の洗堀														
1-4384-01	1-5	カガン谷線	森林管理道	カガン谷橋	美方郡香美町 香住区余部	550m	1970	49	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	河川	8.3	4.4	RCT桁	重力式	-	2.8	R1.9.30	II	床版に鉄筋露出														
1-13002-01	1-6	守柄線	森林基幹道	守柄2号橋	美方郡香美町 香住区守柄	2000m	1972	47	コンクリート橋	コンクリート床版橋	不明	不明	河川	4.4	4.2	RC床版	重力式	-	2.8	R1.10.1	I	-														
1-3164-01	1-12	船越線	森林基幹道	船越橋	美方郡香美町 香住区余部	3200m	1984	35	コンクリート橋	コンクリート床版橋	不明	不明	河川	7.5	4.5	RC床版	重力式	-	1.7	R1.9.30	I	-														
2-2002-01	2-14	宮神山田線	森林基幹道	シハ谷橋	美方郡香美町 村岡区山田	100m	1984	35	鋼橋	鋼桁橋	不明	TL-14	河川	20.5	4.7	I桁 (合成)	逆T式	-	10.7	R1.10.1	I	排水管の腐食														
2-4012-01	2-7	奥山線	森林基幹道	奥山橋	美方郡香美町 村岡区菟山	600m	1967	53	コンクリート橋	コンクリート床版橋	不明	不明	河川	6.0	4.1	RC床版	重力式	-	21.5	R1.9.30	II	主桁に鉄筋露出 防錆機の腐食、変形														

個別施設整理番号	1-3001-01	林道台帳索引番号番号	1-2	施設管理者	香美町役場農林水産課
路線名	サンジ谷線	林道種類及び区分	森林管理道	橋梁名	サンジ橋
施設の所在地	美方郡香美町香住区余部	起点からの距離	750m	建設年度	1990年以降
供用年数	29年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.5m(6.1m)		幅員(車道幅員)	3.0m(3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	有
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	960m		
施設の目的利用実態等	サンジ谷線は利用区域内の蓄積(針葉樹15,117m ³ 、広葉樹20,726m ³)の林業を営む事を目的として設置された路線である。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年9月30日				
	調査結果	主桁、床版が全体的に腐食が生じており、起点側端部のみ断面膨張を伴う腐食が見られる。また、終点側橋台に洗掘(1200mm×1300mm×700mm)が見られる。損傷は局所的で損傷規模が小さい為、早急な対応は必要としないが、予防保全の観点から状況に応じて補修を行う必要がある。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	・排水不良により、起点側主桁・床版端部の腐食が進行したと思われる。 ・大雨時の増水等の影響で終点側橋台の洗掘が生じたと思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度					
	対策費用(概算)					
管理方法	5年に1回定期点検を行い、前回点検の損傷に進行が無い確認を行う。					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期										

備 考

個別施設整理番号	1-4384-01	林道台帳索引番号番号	1-5	施設管理者	香美町役場農林水産課
路線名	カガン谷線	林道種類及び区分	森林管理道	橋梁名	カガン谷橋
施設の所在地	美方郡香美町香住区余部	起点からの距離	550m	建設年度	1970年
供用年数	49	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.3m(7.8m)		幅員(車道幅員)	4.35m(4.35m)
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	2800m		
施設の目的利用実態等	カガン谷線は利用区域内の蓄積(針葉樹7,422㎡、広葉樹7,046㎡)の林業を営む事を目的として設置された路線である。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年9月30日				
	調査結果	床版に局部的な鉄筋露出(200mm×400mm×40mm)、防護柵に全体的な腐食、変形、欠損が見られる。損傷は局所的である為、早急な対応は必要としないが、予防保全の観点から状況に応じて補修を行う必要がある。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶり不足により床版に鉄筋露出が生じたと思われる。 ・車両等の衝突により防護柵の変形・欠損が生じたと思われる。 				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度					
	対策費用(概算)					
管理方法	5年に1回定期点検を行い、前回点検の損傷に進行が無い確認を行う。					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期										

備 考

個別施設整理番号	1-13002-01	林道台帳索引番号番号	1-6	施設管理者	香美町役場農林水産課
路線名	守柄線	林道種類及び区分	森林基幹道	橋梁名	守柄2号橋
施設の所在地	美方郡香美町香住区守柄	起点からの距離	2000m	建設年度	1972
供用年数	47	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.4m(3.9m)		幅員(車道幅員)	4.2m(3.6m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	2800m		
施設の目的 利用実態等	守柄線は利用区域内の蓄積(針葉樹26,812㎡、広葉樹16,938㎡)の林業を営む事を目的として設置された路線である。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年10月1日				
	調査結果	橋台に軽微な遊離石灰が見られる。他に目立った損傷は見られず、放置しても少なくとも次回の定期点検までに構造物の安全性が著しく損なわれることのない状態である。				
	健全性の診断結果	I (健全)	軽微な損傷が見られるが、橋梁の機能に支障が生じていない状態である。今後、経過観察を行い、状況に応じて補修を行うことが望ましい。			
	劣化原因	・防水工不良により遊離石灰が生じたと思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度					
	対策費用(概算)					
管理方法	5年に1回定期点検を行い、前回点検の損傷に進行が無い確認を行う。					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期										

備 考

個別施設整理番号	1-3164-01	林道台帳索引番号番号	12	施設管理者	香美町役場農林水産課
路線名	船越線	林道種類及び区分	森林基幹道	橋梁名	船越橋
施設の所在地	美方郡香美町香住区余部	起点からの距離	3200m	建設年度	1984年
供用年数	35	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.5m(7.1m)		幅員(車道幅員)	4.5m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	1700m		
施設の目的 利用実態等	船越線は利用区域内の蓄積(針葉樹30,204㎡、広葉樹23,313㎡)の林業を営む事を目的として設置された路線である。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和元年9月30日				
	調査結果	本橋は損傷が生じていない健全な状態である。				
	健全性の 診断結果	I (健全)	目立った損傷は見られず、橋梁の機能に支障が生じていない状態である。			
	劣化原因					
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度					
	対策費用 (概算)					
管理 方法	管理方法	現状は健全な状態であるが、5年に1回定期点検を行う事が望ましい。				

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期										

備 考

個別施設整理番号	2-2002-01	林道台帳索引番号番号	2-14	施設管理者	香美町役場農林水産課
路線名	宮神山田線	林道種類及び区分	森林基幹道	橋梁名	シハ谷橋
施設の所在地	美方郡香美町村岡区山田	起点からの距離	100m	建設年度	1984年
供用年数	35	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.5m(19.6m)		幅員(車道幅員)	4.7m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	I桁(合成)橋			
			鋼製(使用鋼材)	SM50Y SS41	塗装使用の有無	有
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	10700m		
施設の目的 利用実態等	シハ谷橋は利用区域内の蓄積(針葉樹32,097㎡、広葉樹19,115㎡)の林業を営む事を目的として設置された路線である。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年10月1日				
	調査結果	主桁、横桁、支承、防護柵、伸縮装置に局部的な腐食(表面錆)、床版に軽微な遊離石灰、排水管に断面欠損を伴う腐食が見られる。損傷は局所的で軽微な為、早急な対応は必要としないが、予防保全の観点から状況に応じて補修を行う必要がある。				
	健全性の診断結果	I (健全)	軽微な損傷が見られるが、橋梁の機能に支障が生じていない状態である。今後、経過観察を行い、状況に応じて補修を行うことが望ましい。			
	劣化原因	・塗装の経年劣化により鋼部材に腐食が生じたと思われる。また、雨水等の影響により腐食が進行し、排水管に断面欠損を伴う腐食が生じたものと思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度					
	対策費用(概算)					
管理方法	5年に1回定期点検を行い、前回点検の損傷に進行が無いか確認を行う。					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期										

備 考

個別施設整理番号	2-4012-01	林道台帳索引番号番号	2-7	施設管理者	香美町役場農林水産課
路線名	奥山線	林道種類及び区分	森林基幹道	橋梁名	奥山橋
施設の所在地	美方郡香美町村岡区萩山	起点からの距離	600m	建設年度	1967年
供用年数	53	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m(5.6m)		幅員(車道幅員)	4.1m(3.6m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明
橋脚工型式	-		海岸からの距離	21500m		
施設の目的利用実態等	奥山橋は利用区域内の蓄積(針葉樹15,382㎡、広葉樹10,778㎡)の林業を営む事を目的として設置された路線である。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年9月30日				
	調査結果	主桁に局所的な鉄筋露出(100mm×100mm×5mm)、防護柵に孔食を伴う腐食、変形が見られる。損傷は局所的で軽微な為、予防保全の観点から状況に応じて補修を行う必要がある。防護柵の損傷については、第三者被害防止のため速やかに補修を行うことが望ましい。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶり不足により床版に鉄筋露出が生じたと思われる。 ・経年劣化により防護柵に腐食・欠損が生じたと思われる。 				
長寿命化計画の内容	計画期間					
	内容					
	実施予定時期					
	施設の優先度					
	対策費用(概算)					
管理方法	5年に1回定期点検を行い、前回点検の損傷に進行が無い確認を行う。					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期										

備 考